

授業科目名	社会学		担当教員	◎大野 知代、鈴木 玲子、 野々村 純	科目ナンバリング
選択	開講年次：1 年前期	単位：1 単位	授業形態：講義15時間		LE122

【授業概要】

人間が生活する環境としての社会を理解するため、社会学の基本的な概念、社会的行為や相互行為、個人と社会、社会と文化などをまず理解し、社会的なもの、学問的なものの見方、考え方を身につけるための基礎的知識を学ぶ。

【達成目標】

社会学の基本的概念を学ぶことによって現代社会の諸問題や課題を理解し、看護師として必要とされる社会的なもの、学問的なものの見方、考え方を養う。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- | | | |
|-------------------|-----------------------|-------|
| [01] 社会学とは何か | －社会学の研究対象とその方法 | (大野) |
| [02] 近代社会と個人(1) | －社会の近代化と個人の個人化 | (野々村) |
| [03] 近代社会と個人(2) | －地位・役割および役割葛藤と役割距離 | (野々村) |
| [04] 近代社会と個人(3) | －世代、階層、地域 | (野々村) |
| [05] 近代社会と個人(4) | －ジェンダー | (野々村) |
| [06] 近代社会と個人(5) | －近代社会におけるコミュニケーションの特徴 | (野々村) |
| [07] 医学・医療と社会学(1) | －「病」の構築 | (大野) |
| [08] 医学・医療と社会学(2) | －看護師の専門性、看護における感情労働 | (鈴木) |

【教科書】

特定のものを使用しない。

【参考書】

参考図書は各授業回に紹介する。

ただし、8回の授業でカバーしきれない範囲はごく限られるため、より広範な知識を求める学生には、以下の入門書を薦める。

- (1) 早坂裕子・広井良典編著(2004)『みらいを拓く社会学 看護・福祉を学ぶ人のために』ミネルヴァ書房
- (2) 浅野智彦編著(2002)『本当のことがホントにわかる！ 図解 社会学のことが面白いほどわかる本』中経出版

【評価方法・評価基準】

学生が各授業終了後の授業内容の要約を含む感想文および個人の疑問・課題等について提出したものを100%とし、担当教員間で総合的に評価する。

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習として、日常生活を送るなかでの気づきや、疑問、課題など考えたことを大切に授業に持ち寄り臨む(1.5時間)。

また、各授業の授業内容をより深く理解するために自ら事後学習として授業を整理する(1.5時間)。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ、教養教育で培う普遍的基礎能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

授業内に求める意見・感想へのフィードバックは、その後の授業のなかで行う。

【備考】

本科目は1年後期に開講される必修科目「家族社会学」と関連が深く、各論である「家族社会学」の基礎をなす科目である。そのため、可能な限り「社会学」を履修しておくことを勧める。